

# お腹を痛がったら

子どもがお腹を痛がることはよくあります。ちょっと気持ちが悪いただけという軽い痛みから、ころげ回るような強い痛みまで、痛みの強さやその原因はさまざまで診断が難しいことがあります。



急いで受診

の目安

- 不機嫌で30分以上泣き止まなかったり、泣いてはおさまりまた泣くことを繰り返す
- 便に血液が混じっている
- おなかが硬く張っている
- おむつをはずすと、股の付け根や陰囊が膨らんでいて小さくならない（そけいヘルニア）
- 顔色が悪く、痛みで歩くのが困難
- 嘔吐を繰り返し、嘔吐したものに血液、胆汁（黄緑色）が混じっている
- お腹を強く打った後に、お腹を痛がる

## ◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 3歳未満では、自分でお腹が痛いと言えられないので注意が必要です。
- そけいヘルニアは乳児に多くみられ、腸の一部がそけい部（股の付け根）に出てくる疾患で、手術が必要になる場合もあります。
- お腹を強く打った後に腹痛を訴える場合は、比較的元気でも肝臓、脾臓などの腹部の臓器が傷んでいることがあるので注意が必要です。
- 便秘だけでも強く腹痛を訴えることがあります。1～2日排便がなく腹痛以外に症状がほとんどない場合は、浣腸で良くなる場合があります。また、毎日排便があっても徐々に便がたまって痛くなる便秘もありますし、うさぎの便のようにかたいころころした便が出ている場合は、慢性の便秘の場合があります。
- 学童期には、盲腸（虫垂炎）が増えます。

- 排便で治ることがあります。トイレへ行かせてみましょう。
- 排便が1～2日なければ浣腸をしてみましょう。

## 下痢をしたら

## ◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 便に血が混じって、腹痛が強い時は重症の可能性ががあります。
- 尿の出方が少なくなり、元気がなくてぐったりとしている場合は、脱水症状が考えられます。下痢の回数、量、嘔吐の有無、尿量、水分がとれているかどうかなどの情報が診療に役立ちます。
- 元気があり、水分もとれる時は重症である可能性は少なくなります。少しずつ経口補水液などの水分をとらせて、翌日かかりつけ医を受診してください。

- 嘔吐、下痢の時は、冷たいもの・炭酸飲料・柑橘系ジュースは禁止ですが、食事をまったく食べないとかえって体調が悪くなります。子どもが飲んだり食べたりできるのなら、母乳、おかゆ、うどん等消化の良いものを少しずつ与えてください。